

# 『縁故知心』

人と人は、  
因縁という不思議な力があります。  
インターネットの中にも、  
意見のめぐり合せが繰り広げられています。

P|PED BITS



佐谷宣昭 Nobuaki Satani

1972年生まれ。九州大学工学部建築学科卒業。2000年九州大学大学院人間環境学研究科博士課程修了、博士（人間環境学）。翌月起業。株式会社パイプドビッツ社長CEO。明日の豊かな情報生活に貢献したいとの想いから、「情報資産の銀行」の必要性を説く。官公庁や都市銀行、小売業など3067の事業者に情報資産プラットフォーム「スパイク(R)」を提供中。

株式会社パイプドビッツ  
東京都港区赤坂2丁目9番11号  
03-5575-6601(代表) <http://www.pi-pe.co.jp/>

## 『漫画で「ミニユニークーション』

1月18日、無料通話・メールアプリ「LINE」(ライン)のユーザー数が1億人を突破した。昨年の震災後の2011年6月にサービスを開始してから19ヶ月後の1億ユーザー達成は、フェイスブックの54ヶ月を大幅に上回る驚異的なスピードで、まさにインターネットの歴史に残る目覚ましい成長である。

何を隠そう私もLINEのヘビーユーザーで、これまで多くの友人や同僚にLINEを勧めてきた。すでに国内には4千万のユーザーがLINEを使っているので、初めて会って電話番号を交換した人が、あとでLINEの友達として登場する、という経験をした人は少なくないと思う。

簡単にメッセージを送れて、音声通話も無料。テキストだけじゃなく、写真や動画をグループで共有できる。こんな情報共有ソフトをインスタントメッセンジャーと呼ぶのだが、有力なソフトはLINEの他にある。

カカオトークはLINEの1年前にリリースされているし、昨年秋にはcomも登場した。パソコンでは、スカイプやウインドウズ・メッセンジャーが古くからの定番だ。全世界に10億を超えるユーザーを抱えるフェイスブックのメッセージ機能でも同様のことはできる。

では何故LINEなのか、と問われれば、何と言つてもスタンプだ。インターネットを使い始めて20年近くになるが、これは新鮮だった。フェイスブックは「いいね！」で同意の気持ち

を伝えるが、LINEには、オリジナルキャラクターのムーン係長をはじめとして、5千を超える表現豊かなスタンプが用意されていて、その時々の感情表現を助けてくれる。

例えば、幸せなときには「ピース」、景気付ければ、「エイエイオー」、急がせたいときは「GO! GO!」。こうやって言葉にしてみても、なかなか伝わらないところにスタンプの魅力を実感する。インターネットと漫画が融合すると、コミュニケーションがこんなに楽しくなるんだということを教えられた。

そんな楽しみの傍らで、スマートフォンとLINEの普及が我々事業者の頭を悩ませる。連絡先交換の主役がメールアドレスから電話番号に変わろうとしているのだから。

正月恒例の「あけおめメール」。今年は携帯メールの流量が激減し、ディズニーのキャラクター達のスタンプが華やかに正月を祝っていたことだろう。

さあ、今日は元気一杯、イケイケの気分だから、北斗の拳のケンシロウで挨拶だ「ほああ!!」。

